

JCV journal

Japan Committee, Vaccines for the World's Children

2018
SUMMER
VOL.11

Laos ラオス人民民主共和国

支援活動報告

Donor's Voice ワクチン支援の現場を視察して

News 子どもワクチンサポーターメンバー募集中!!

© JCV

Donor's Voice

ワクチン支援の現場を視察して

今 回の視察では、中央保冷库、県の病院・郡の病院・保健所の接種会場・村での移動型予防接種と、現地でのワクチン支援の現場を、中央～村レベルで確認することができました。舗装されていない道や山岳地帯などアクセスの問題、言語・文化問題、ワクチンへの理解不足から、予防接種を受けられる環境にありながら受けない家庭もあるなど、多くの壁があることを知りました。しかし同時に、徹底した温度管理、移動型予防接種チームの貢献、さらに、重たいワクチンキャリアを担いで1軒1軒をまわって接種を促す活動など、私たちの支援がワクチンとしてちゃんと子どもたちに届いていることを、子どもたちの笑顔、母親の安堵の表情が全て物語っていたように感じます。今回の視察では、支援を続けることの大切さを再確認しました。

ピーアークホールディングス株式会社 松川 実佐



2017年10月8日から13日、ラオス人民民主共和国の視察に同行されたピーアークホールディングス株式会社 松川実佐様のご報告です。同社はJCVのゴールドスポンサーとして、またタイアップ協力やペットボトルキャップ回収等を通じてJCVの活動を支援しています。

News

子どもワクチンサポーター(毎月募金)メンバー募集中!!

感 染症がこの世から根絶されるまで、世界中で毎日生まれてくる子どもたちが必要とするワクチン。「子どもワクチンサポーター」の皆さまの継続的なあたたかいご支援は、JCVの活動の大きな支えとなって、ワクチンで助かるちいさな命を救い、世界中にたくさんの子どもの笑顔を生み出しています。JCVでは、「子どもワクチンサポーター」となって、定期的に、世界中の子どもたちにワクチンをプレゼントしてくれるメンバーを募集しています。ぜひご参加ください。



お申込み方法



郵送での申込み

専用の申込書に必要事項を記入してJCVに送付



WEBでの申込み

www.jcv-jp.org/kifujiro/
の申込フォームより登録

サポーター特典



報告書と子どもたちからのメッセージを年1回
ニュースレターを年2回
ご自宅にお届けします。

1日100円の支援で、毎年1,800人の子どもたちにポリオワクチンをプレゼントできます! 皆さまのご協力をお願いいたします。



編集・発行 認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
〒108-0073 東京都港区三田4-1-9 三田ヒルサイドビル8F

資料請求・お問合せ 0120-555-895
(月曜～金曜 受付時間 9:00～17:00)

www.jcv-jp.org
デザイン/アーク・フロント株式会社 禁無断転載
JCV Journal vol.11 発行日 2018年7月1日





ラオス人民民主共和国視察報告



チャムパーサク県Kod Yai村でのポリオワクチン接種の様子

2017年10月8日(日)から10月13日(金)までの6日間、支援者様9名とJCV職員2名の計11名でラオス視察を実施しました。今回の視察では、ラオス南部のチャムパーサク県を訪れ、ワクチン予防接種の現状を確認してまいりました。



Kod Yai村の予防接種会場で接種を待つ母子



支援10年の成果

JCVは2007年、JICAのワクチン支援終了を受けラオスへの支援を開始。昨年支援10年を迎えました。その間、DPTワクチンの予防接種率は50%(2007年)から82%(2016年)には、しかしワクチンの接種率は40%から76%に改善。5歳未満児出生1000人あたりの死亡数も97人(2005年)から64人(2016年)と着実に減少しています。

継続して抱える問題

ラオス政府は、予防接種5カ年計画の中で、積極的に予防接種率向上に取り組んでいます。地域格差が多く、困難を生んでいます。特に、山岳地域に暮らす少数民族が多いため、予防接種を必要とする子どもへのアクセス難は大きな問題となっています。

ワクチンを届けるために

病院等の定められた場所での予防接種が実施できるのはラオス全土のわずか30%にすぎず、70%の地域では移動型予防接種を実施しています。今回訪ねたKod Yai村も移動型予防接種実施地域です。皆さまが贈ったワクチンは、保健省やUNICEF、医師や看護師の協力を得て、子どもたち届けられます。バイクや徒歩で早朝や夜にかけて、山岳地などに点在する家々をまわって予防接種を実施するチーム等の活躍により、ラオスの子どもたちの健康と未来が守られています。

ラオス視察を終えて

ラオスの子どもたちの眼は輝いていて、どこに行ってもJCVの継続したワクチン支援に対する感謝の言葉がありました。これまで10年間ラオスへの支援を継続できたのは、支援者の皆さまからのあたたかいご支援のおかげです。心より感謝を申し上げます。

Gaviからのワクチン支援が2021年に終了することが決まり、今後はさらに、JCVの支援への期待は高まっていくことと思います。JCVは引き続き、ラオスの子どもたちにワクチンという贈り物を届けていきたいと思えます。

事務局長 伊藤光子

